

平成 24 年度 事業報告

公益財団法人日本股関節研究振興財団の平成 24 年度における事業の概要について、次のとおり報告いたします。

1. 研究助成事業（公 1）

（1）研究助成金支給事業

股関節に関する学術研究、診断と治療技術の開発及び健康寿命を延伸するための研究に関する優秀な研究に対して、公募により助成を行いました。

平成 24 年度は 21 名の応募者の中から下記の 4 名に決定し、12 月 8 日開催の第 23 回股関節研究セミナーにて交付式を行い、100 万円を 3 件、50 万円を 1 件、研究助成金として交付いたしました。

研究課題 1 股関節疾患の基礎、診断、治療或いは予防に関する独創的研究

- ① 抗菌作用を有するヨード担持チタン製人工股関節の臨床応用と骨固着性に関する基礎的研究

金沢大学 加畑多文

- ② 変形性関節症予防を目的とした関節軟骨変性とリンクする肥大軟骨細胞分化を制御する標的分子の同定と機能解析

鹿児島大学 前田真吾

- ③ 高磁場 MRI を用いたステロイド性大腿骨頭壊死症の病態解明と新規予防法の検討

京都府立医科大学 齋藤正純

- ④ 問診票を用いた一次健診システムの導入による先天性股関節脱臼症例早期発見の取り組み

新潟大学 村上玲子

研究課題 2 健康寿命を延伸するための股関節に関する研究

該当無し

(2) 研究成果報告書作成事業

平成 22 年から平成 23 年に実施した下記の 4 名の方々の研究の研究成果報告書を作成しました。また、厚生労働省、各医科大学及び国公立病院等に配布いたしました。

- ① 変形性股関節症における炎症性滑膜の免疫組織学的検討
千葉大学大学院医学研究院整形外科学 中村順一
- ② 人工関節（股および膝）の耐用性と安全性評価のための全国的登録体制の確立
京都大学医学部整形外科 秋山治彦
- ③ 早期の骨誘導効果のある新しい技術の比較 GRAPE Technology とアルカリ加熱処理の骨誘導能の比較
旭川医科大学医学部整形外科 谷野弘昌
- ④ MDCT を用いた変形性股関節症の骨梁構造解析
長崎大学医学部整形外科 千葉 恒

(3) 股関節研究セミナー開催事業

平成 24 年 12 月 8 日、朱鷺メッセ（新潟市）に於いて開催された「第 23 回股関節研究セミナー」にて、平成 21 年度に実施された下記の 5 件の研究発表を行いました。参加者は約 30 名で、活発な意見交換が行われました。

- ① 「軟骨細胞様細胞において IL-4 は力学的負荷誘導性の RUNX2 および MMP-13, ADAMTS-5 の発現を抑制するか」
岡山大学大学院 鉄永智紀
- ② 「人工股関節全置換術後静脈血栓塞栓症の複数の血液凝固マーカーによる早期診断と抗 Xa 活性モニタリングを用いた新しい薬物的予防法の確立に向けた研究」
横浜市立大学 稲葉 裕
- ③ 「人工股関節の軟部組織緊張の定量的評価」
大阪大学大学院 高尾正樹
- ④ 「変形性股関節症患者に対する 3.0 テスラ MRI を用いた遅延相造影 MRI による関節軟骨評価の研究」
広島大学大学院 山崎琢磨
- ⑤ 「股関節唇の関節軟骨保護機能に関する生体力学的研究」
旭川医科大学 伊藤 浩

2. 普及啓発事業（公2）

（1）股関節市民フォーラム開催事業

本年度の股関節市民フォーラムは、平成24年10月7日（日）に、宮城県多賀城市に於いて、「被災者のための健康寿命延伸教室」を開催いたしました。

当日の来場者数は450名であり、熱心な質疑応答がありました。また、多賀城市役所のご協力により、仮設住宅にお住まいの方々へ「健康ガイドブック」やバンド等を400部配布していただきました。

<プログラム>

- ① 「エコノミークラス症候群とは？それを防ぐには」
宮坂芳典氏（仙塩利府病院 整形外科部長）
- ② 「心のケア」
石井千恵氏（藤沢病院企画室長・精神保健福祉士）
- ③ 「ロコモティブシンドロームってなあに？」
別府諸兄氏（聖マリアンナ医科大学 教授）
- ④ 「運動器の健康寿命をのばす襷（たすき）バンド体操」
太藻ゆみこ氏（メディカルフィットネス研究所代表・健康運動指導士）
- ⑤ 「多賀モリ体操（ご当地体操）」
星 彰氏（多賀モリ会代表）と多賀モリ会一同の方々
- ⑥ 質疑応答

（2）普及啓発事業

平成24年度は、人工股関節への理解・治療・予防のための誰にでもわかる「人工股関節がよくわかる本」を8月末に発行し、広く一般国民の方々に人工股関節についての周知を図りました。

（3）インターネット情報提供事業

ウェブサイトの内容を充実し、より見やすく、利用しやすいように情報公開しました。また、これまで郵送にて行っていたイベントのご案内や広報をインターネットによるメールにて行い、コストの削減を図りました。

3. 運動器健康寿命延伸事業（公3）

（1）運動器健康寿命延伸体操の研究開発及び普及促進事業

健康寿命延伸のための股関節を中心とする「運動器健康寿命延伸体操」（ロコモン体操）の研究開発及び外部機関が開催する下記の講演会等へ出演し、普及促進に努めました。

① 平成 24 年 6 月 15 日（金）

大阪府摂津市立老人福祉センター せつつ桜苑 摂津市いきいきカレッジ

「運動器の健康寿命をロコモティブシンドロームから考えよう」

講師：聖マリアンナ医科大 教授 別府諸兄氏（DVD 出演）

メディカルフィットネス研究所 代表 太藻ゆみこ氏

対象：一般市民の方々 参加者は 50 名でした。

② 平成 24 年 6 月 16 日（土）

大阪府豊中市医師会在宅医療講演会

「寝たきりにならないために パート 2 『運動器の健康寿命を考えよう。』

ロコモティブシンドロームって何？』

講師：聖マリアンナ医科大 教授 別府諸兄氏

メディカルフィットネス研究所 代表 太藻ゆみこ氏

対象：一般市民の方々、介護関係者、医師会員等。

参加者は 130 名でした。

③ 平成 24 年 11 月 2 日（金）

新潟県新潟市 東区健康づくり講演会

「ロコモ予防でいきいき健康づくり講演会」

講師：聖マリアンナ医科大 教授 別府諸兄氏（DVD 出演）

メディカルフィットネス研究所 代表 太藻ゆみこ氏

対象：一般市民の方々 参加者は 150 名でした。

④ 平成 25 年 1 月 17 日（木）～2 月 14 日（木）（全 5 回）

公益財団法人 川崎市生涯学習財団

「股関節に着目した健康講座と体操実習『伸ばそう健康寿命、いつまで

も元気で歩くために～ロコモン体操であなただの膝、腰、骨は大丈夫』

講師：聖マリアンナ医科大 教授 別府諸兄氏

メディカルフィットネス研究所 代表 太藻ゆみこ氏

対象：一般市民の方々 参加者は 16 名でした。

（2）体操指導者研修事業

平成 24 年度は、2 回実施しました。

① 平成 24 年 5 月 19 日（土）

第 5 回ロコモン体操講習会

講師：聖マリアンナ医科大 教授 別府諸兄氏

メディカルフィットネス研究所 代表 太藻ゆみこ氏

健康運動指導士 野田慶子氏

対象：健康運動指導士、介護関係者他 25 名

会場：京都府 京都テルサ視聴覚研修室

② 平成 24 年 12 月 8 日（土）

第 6 回コモン体操講習会

講師：聖マリアンナ医科大 教授 別府諸兄氏

メディカルフィットネス研究所 代表 太藻ゆみこ氏

健康運動指導士 野田慶子氏

対象：健康運動指導士、介護関係者他 26 名

会場：新潟市東区プラザ 講座室 2

4. 管理事業

(1) 理事会

日 程	議案・報告	開催場所
平成 24 年 5 月 18 日(金) 第 2 回理事会	1. 平成 23 年度（12-3 月期）事業報告及び財務諸表について 2. 諸規程の改定について 3. 賛助会員について 4. 平成 24 年度事業スケジュールについて	京都市 国立京都国際会館 RoomI
平成 24 年 12 月 8 日(土) 第 3 回理事会	1. 諸規程の改定について 2. 今後の財団のあり方について	新潟市 朱鷺メッセ 展示控室 6
平成 25 年 2 月 22 日(金) 第 4 回理事会	1. 平成 25 年度事業計画・収支予算について 2. 基本財産について 3. 財団の今後のあり方について 4. 股関節・マンスリー、シーズナル募金について 5. 諸規程の改定について 6. 相談役及びアドバイザーについて 7. 事務局人事について	京都市 国立京都国際会館 Room103

(2) 評議員会

日 程	議案・報告	開催場所
平成 24 年 5 月 18 日(金) 第 2 回評議員会	1. 議事録署名人について 2. 平成 23 年度（12-3 月期）事業報告及び財務諸表について 3. 諸規程の改定について	京都市 国立京都国際会館 RoomI
平成 25 年 2 月 22 日(土) 第 3 回評議員会	1. 議事録署名人について 2. 基本財産について	京都市 国立京都国際会館 Room103